

男女平等の社会へ



上田染谷丘高等学校1年4組 28番 西沢 琉碧

テーマを選んだ理由

・日本にかかわらず世界全体で男性と女性で格差があることをテレビや学校の授業で知ったから。

・同じ生き物の中で格差ができることはあってはならないと思ったから。

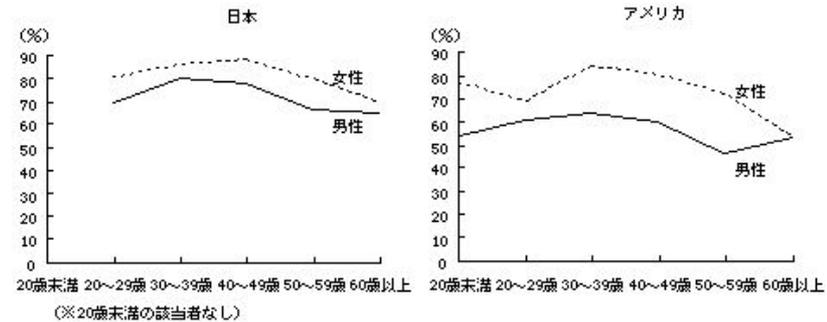
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



現状について

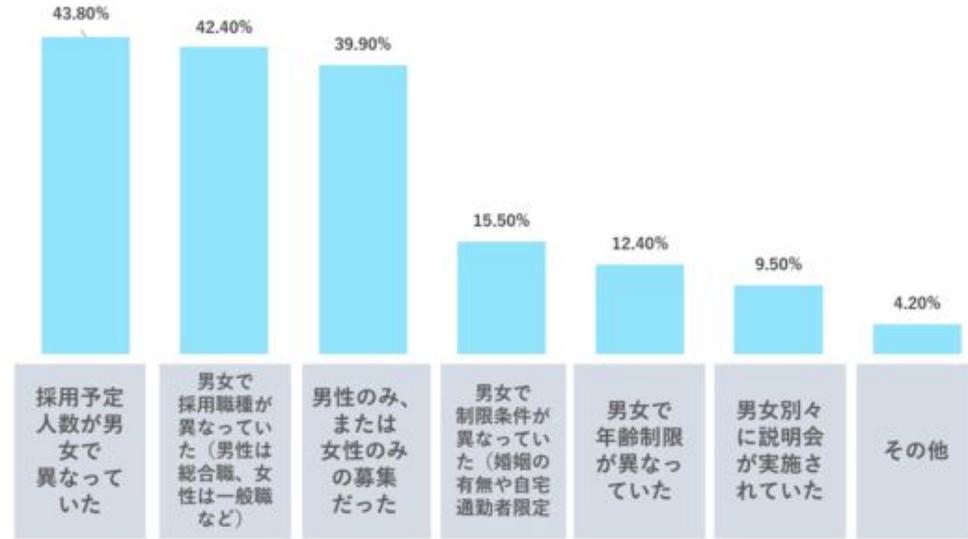
- ・日本でもアメリカでも**30代～40代**の女性で男性の方が優遇されていると答えた人が多い。

図 男性の方が優遇されていると答えた割合(性・年齢別)



- ・仕事でも女性の方が賃金が**低く**、また昇格の機会が**少ない**。

現状について

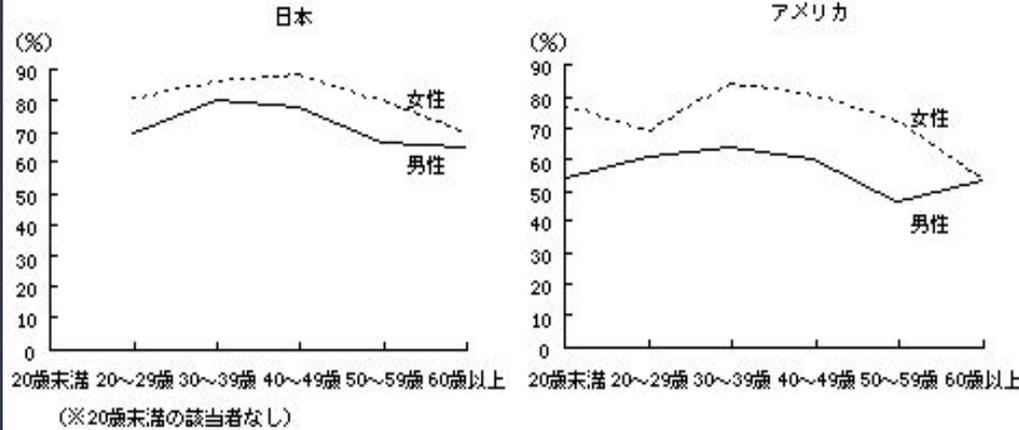


・また、他にも職場の採用基準にも多くの女性差別があると感じる人がいる。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



問題点



・表を見ると男性のほうが女性よりも
不平等さを認識できていない。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



課題

・両性にもっと男女格差を知ってもらえるような社会を作り出す。

また、問題を認識するだけでなく自分のこととしてとらえ、 平等にしてい
くという意識を身に着ける。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



10代からの提言

・「男だから」、「女だから」という古い考え方をやめ、女性でも男性でも平等に輝けるような社会やその意識を創り出す。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

